Rotary 国際ロータリー第2520地区　クラブ創立 1968年2月12日

大河原ロータリー クラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分
例会場：和洋亭 ぶざん
柴田郡大河原町字新南25-18
TEL 0224－51－1113

会　長：村　上　則　夫
副会長：樽　見　正　仁
幹　事：佐　藤　能　文
副幹事：丸　山　勝　利
広報・ICO
委員長：津田　政行
副委員長：岩間　範男
委　員：岡崎　隆･佐藤克美･高橋大志

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー:
変化をもたらす
ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

2017-18年度 RI会長　イアン H.S. ライズリー
国際ロータリー第2520地区
2017－2018年度ガバナー　藤崎三郎助

事務所：〒989-1224　大河原町金ヶ瀬字町17　TEL0224-51-1400　FAX0224-51-1188　info@rotary-ogawara.com

2018年5月10日(木)第2461回例会

会長あいさつ　　会長　村上則夫

皆さんこんにちは、本日例会にご出席頂きまして本当に有難うございます。今日ご紹介する方が沢山いらっしゃいますので、先ずご紹介をさせて頂きます。米山奨学生の張挺君です、後ほどスピーチして頂きますが、今年４月から来年の３月まで１年間米山奨学生として大河原ロータリークラブでお世話する様になりますので会員の皆さんどうぞ１年間よろしくお願いいたします。それから明治安田生命の前任の遠藤さんの後任ということで山内さんが会員と言うことになりますのでご紹介いたします。

山内さんより一言ご紹介を！　失礼いたします、４月から明治安田生命の大河原営業所でお世話になることになりました山内と申します、こちらから本当は挨拶に回らなくてはならないところ本当に申し訳ございません、まだ分からないことが沢山ありますのでいろいろお世話になることが多くあると思いますが宜しくお願い致します。簡単に自己紹介させて頂きます、生まれは秋田県になります、ずっと中学校の頃からラグビーをやっておりまして大学から東京の方の帝京大学でラグビーをさせて頂いておりました、一応内の会社にもラグビー部がありまして、野球で言いますと二軍でＪ２のようなリーグでしていました、現役を引退した後に前職では愛知県の方で岡崎支社で営業所長３年させて頂いて、この４月から大河原営業所でお世話になることになりました、ラグビーに関して少し言いますとワールドカップに出たメンバーが同級生で沢山います、五郎丸であるとか同級生で年に何回か会ったりしますので何かあればそのようなことで何か準備もできますので声をかけてもらえればと思います、本当にご迷惑を掛けることが多いと思いますが宜しくお願いいたします。

ハイ有難うございます、今食事の時にちょっとお話をさせて頂いたのですが、ラグビーということで私もラグビーをかじった事がありまして、大ちゃんも小学校の頃からラグビースクールとラグビーをずっとしていらっしゃいまして、何かみんな刈上げたのですよね、何か申し合わせをした様に刈上げのチームの様になりましてロータリーでもラグビーチームを作ろうかなと思ってしまいました、私は松尾とか森さんとか平尾さんですかね、この様な世代で本当にラグビーが好きで、そのような話を出来る仲間が出来たということで大変喜んでおりますので、どうぞ夜間例会もご参加ください、ありがとうございました。

そして５月１日から前任の鈴木さんが退職されまして、後任という事で松倉さんにお願いしております、どうぞご挨拶お願いいたします。

皆さんこんにちは、松倉恵子と申します、午前中は倫理法人会のほうの事務局をしております、それなので少し顔をわかる方もいらっしゃいますけれども、中々いろんなことを引き継ぎをしましたがまるっきり分からなくて多分迷惑をお掛けするかと思いますけれども宜しくお願いします。

会員の皆さん、是非松倉さんもロータリーの言葉と言うのが英語とかでその様な点で分からないところが多いので是非お手伝いをお願いしたいと思います。

今月ですが、来週３クラブの合同例会があります、日中はゴルフ大会もありますので、ご参加される会員の皆様はぜひいいプレーをお願いしたいというふうに思います、あと５月２０日の日曜日は地区協議会が盛岡で開催されますので、是非多くの会員の皆様がご出席いただければと思っています。

それで、今月最初の例会ですので、今月は青少年奉仕月間となっております、当クラブとしてはロータリーサッカー大会に協力しているわけですが、来月のロータリーの友にそのサッカー大会の様子が掲載されるという事でございますので、是非ご覧ください。５月の誕生会員と結婚記念会員をご紹介いたします、５月３日森徹会員です、５月６日岩間範男会員です、５月１５日福角勘治会員でございます、５月１７日武者昌洋会員でございます、５月１９日本木拓也会員でございます、続いて結婚記念会員です５月は多いです、５月２日立石博政会員です、５月３日佐藤能文幹事でございます、５月１２日高城英男会員でございます、５月２３日奥林潔会員でございます、５月２６日佐々木信明会員でございます。以上でございます。

今日はこれで会長の挨拶といたします、ありがとうございました。

幹 事 報 告　　幹 事　佐 藤 能 文

皆さんこんにちは、幹事報告を致します。先ほど会長からもお話ありましたが、５月２０日に次年度に向けた地区協議会が盛岡のグランドホテルで開催されます。続きまして３クラブの夜間合同例会５月１６日にぶざんで開催されますが、曜日が水曜日になっております、時間は６時からとなっておりますので曜日と時間を間違いのないように確認して頂きたいと思います。５月の最終例会ですがお昼のいつもの時間ですが、グエンさんの家族の方々が見えられます、本人、お父さん、お母さん、お姉さん、弟さんという事で、５名でお越しになられます、皆さんに御礼とお話をしたいという事で一言ずつお話を頂きたいと思います。

今日のご報告は以上となります。

各 委 員 会 の 報 告

米山BOXの報告　　藤江 裕佳里 委員長

八島幸夫会員　少しずつ積み立てます
奥山潔会員　少しずつ積み立てます
森　徹　会　員　少しずつ積み立てます
藤江祐佳里会員　張さんを歓迎して積み立てます。

スマイルBOXの報告　　森 徹 副委員長

奥林潔会員　まだ別れずにおり、他人の離婚の世話をしております。
樽見正仁会員　張挺さん７月より会長として共に頑張りましょう。
村上則夫会員　張挺君、山内様、今後ともヨロシクお願いします。

佐藤能文会員　張挺様、１年間宜しくお願いします。
藤江祐佳里会員　張挺さん、スピーチ楽しみにしています。
奥林潔様、張挺さんのサポート頑張ってください。
八島幸夫会員　東北大学院生、張挺様を歓迎します、奥林会員よろしくお願いします。
森　徹　会　員　誕生祝いのケーキありがとうございました。５月３日で７２才になりました。
めでたくもあり、めでたくもなしです。
米山奨学生の張挺さん歓迎いたします。

「自己紹介と将来の夢」　米山記念奨学生　東北大学院生　張　挺　様

皆さん初めまして、今年度からお世話になります張挺と申します。本日この場で自己紹介をさせていただいて本当に光栄だと思っております、私の名前は張挺です、張は弓長の張で日本でもよく見られる文字だと思いますが、挺は日本では珍しい文字だと思います、中国語で挺の意味は、背中を真っすぐさせる姿勢であり、多分親は私のこれからの人生を堂々と生きてほしいと思ってこの名前を付けてくれました。そして私の出身地は中国の浙江省です、多分皆様はそんなにご存知ではないと思いますが、上海の南側に隣接していて、実家は浙江省の真ん中の金貨市です、新幹線で上海までは２時間ぐらいかかります、名物は金貨ハムがありますが皆さんも多分聞いたことがあると思います、金貨市の規模は仙台市より少し小さくて、ですから都会でもなく田舎でもなく、丁度真ん中ぐらいの規模で非常に住みやすい所と思っています、そして私の留学のキッカケは、そもそも小さいころから日本の文化が好きで、特に日本の歌をよく聴いたりドキュメンタリーとかドラマをよく見たりしています、日本のポジティブな作品が多く、よく励まされていました、日本の文化と生活をしたくなって日本に留学しに来ました、日本に来て実際の想像より住みやすく、そして日本人は優しいから、前は福井県で１年間交換留学でしたけれど、その交換留学が終わったら、また東北大学の大学院を受験してそのまま進学しました、そして来年は卒業しますが日本の企業に就職したいと思って今就職活動を行っています、東北大学というと中国の文学者の魯迅を皆さんは知っていると思います。実は私も魯迅も２人とも浙江省紹興出身で自分は魯迅となんか縁があるのかなと何時も考えております、魯迅の恩師の藤野先生の出身地は福井県で、その関係で浙江省と福井県は友好都市になって私の学部の大学は福井県立大学が姉妹校になって、交換留学のチャンスを頂いて交換留学ができました、今私が通っている片平キャンパスも昔魯迅が通っていたキャンパスであり、今毎日授業に行く途中で魯迅の像のところを通りかかっています。

将来の夢のお話をさせて頂きたいと思います、私は今東北大学の会計大学院で日本の会計制度について勉強をしております、将来的には日本と中国の会計税務制度のギャップを埋める仕事に就きたいと思っています、特に近年中国人が日本で会社や店を立ち上げる事も少なくないです、でも登録手続きや記帳や申告は日本の事務所に頼んでしてもらっていますが、もし中国語に対応できる人がいれば業務がもっとスムーズに進むと思います、ですから逆に日本の企業、中小企業がこれからも海外に進出したいと思っています、もしそのように中国に進出したいなら事前にコンサルタントやサポートの仕事をして上げたいと思っています、そして仕事以外には私もこれから中国との懸け橋になりたいと思っています、現地の日本人と中国人を見るとお互いの偏見がまだまだ多いかなと思っています、例えば多くの中国人は日本人は礼儀正しいと思う一方で少し距離間があると思っております、しかし私が知っている限り確かに日本人と初対面の時は少し距離をおいている人が多いですが、いったん仲良くなると他の国の人とそんなに変わらないと思います、むしろ日本人は相手への心遣いや思いやりがあり、もっと優しく感じられます、逆に日本人に中国人の事を聞くと田舎とか汚いとかその様なマイナスのイメージがよく出ていますが実はそれはもう何十年前の中国の事だと思います、特に２１世紀に入る

と中国は凄く発展しています、今上海や北京でも東京に負けない位の規模があります、去年日本人の友達を誘ってあげました、そして彼の感想は想像以上奇麗で料理が美味いと言いました、そして前福井県でお世話になったおばさんも中国の留学生は好きですが中国のイメージがあまり良くありません、誘ってもあまり行きたくないと断られました、このままだとお互いの素晴らしさを見逃してしまい凄く残念だと思います、だからこれから日本に居ても中国に帰っても自分の経験を周りに伝えて偏見を減らすよう頑張りたいと思います、そしてもし宜しければ皆さんが中国に行きたいと思ったら是非案内させて頂きたいと思います。

最後に、私の一番好きな日本の歌は美空ひばりさんの「川の流れのように」の歌詞を書いて日本と中国の関係について発表させていただきたいと思います、先ず日本と中国の関係は川の流れのように緩やかに幾つもの時代を過ぎて、つまり昔の遣唐使の訪問から藤野先生と魯迅との絆、そして今民間でも様々な交流活動など日本と中国の関係は過去から現在へ、そして現在から未来へ常に流れています、そして日本と中国の関係は川の流れのように移り行く季節雪解けを待ちながら、今は何処か混乱がありながら両国の間の経済、文化の交流は順調に進んでいます、私たちは何時か雪が解ける日が、総合理解というかたちで来ることを信じています、最後に日中関係は川の流れのようにこの身を任せていたいです、今私たちはご先祖様と先輩たちの足跡に従って福井そして今仙台へやっと来ました、これから日中関係が益々発展する為に微力ながら私自身も貢献したいと思っております、少数では無力と感じられるかも知れませんが、皆さんが助け合えば明るい未来は私たちを待っています、ですからこれからの１年間沢山交流させて頂きたいと思いますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

米山記念奨学生を迎えて　　米山記念奨学会委員長　奥　林　　潔

それでは、私のお喋りの時間を頂きまして有難うございます。今の張さんの話をお聞きになって、あれあれという感じで、私からすると次の世代をこのまま任せられる人が来てくれたという事でとても嬉しく思っております、また皆さんも張さんの話を聞いて、この方だったら直ぐ受け入れようという気持ちに成っていただける方だと思います。

本当は、米山奨学会を担当するようにと言われたときに、だいたい藤江さんがいくら貯まりましたとか貰いましたとか、ついでに若い女性がそばにいて、その様なことであればいいんだと思っていたところがどうも話が違ってきたと、話が違ったのは結局カウンセラーとして地区大会にも行かなくてはならない、何か引っ張り出されてこれは大変だぞと思っておりました、特に気になったのは私の担当する奨学生の方は中国の方で、それも若い屈強な人間である、これは爺負けてしまうダメだとこの様に思った次第であります、それで逃げようかなと思ったけれども逃げられない立場に成ってしまいました。諦めて張さんの様子を見ていますと、どうも思っていたのと違う感じを受けました、私たち年配の方も居りますが、中国と日本の関係については暗い過去があります、これは消そうと思っても消せないので、私自身戸籍の方では満州国新京市となっております、それがあるから、もし中国に行こうかと思ったら、手続きの受け入れ先の方で引っかかるのではないかと、最近の新聞の欄に出ていましてどうなのかなと思っていました。ただ今の国と国がある限りは摩擦が生じますが、こうして人と人が付き合っていると同じなのだなと思っていただけるのだなと、そうするとロータリーはその様なことを果たしている機関だと思っております、張さんも中に入ってもらって、潤滑油と言うよりも重要性を高めてもらい協力をお願いしたいと思います、奨学生について、クラブ

カウンセラーの依頼状がありますが、そこにこの様に書いてあります、奨学生は多くの会員のご支援によって迎える、当地区では新規に９名を迎えることができました、つまりロータリークラブ会員の方がこの様に米山ＢＯＸに積み立てをして奨学生のために優秀な人材もこの様に付き合っていけるようになる、是非米山ＢＯＸにご協力お願いいたします。この積み立ては多分非課税になると思います、余計な話でありますけれども、この奨学生の選抜ですが、大学で更に優秀な学生を地区の選考に於いてロータリアンの目で審査して、最終的に合格者となっている、新規の奨学生の張さんについては大河原ロータリークラブで引き受けて頂きたいと、その様なシステムで２月７日付けで村上会長のところに来ております、４月１日付けで委嘱状という事で、こちらに持ってきましたが、大河原ロータリークラブという事で、張さんの世話クラブを委嘱しますという事で来ております、これはあまり貰いたくなかったのですが、カウンセラーという事で委嘱するという事になっております、この書類は皆様に見せてくださいと書いてあったのでお見せする次第であります、張さんは大学院に入っておられますが担当の木村教授の推薦がありました、それを見ますと張さんは昨年の４月に会計大学に入学して現在会計学並びに税法学を中心に進めていると、留学生であるが故の言語的な不利のある中で日本人の学生でも難解とされる法人税法など高い成績を収めているとこの様な評価をいただいております、これは多分こちらの奨学生にさせるためのでっちあげではないかと思ったりしたのですが、先ほどの張さんの話を聞いておりますと本当にスピーチが上手いと、これは百点満点のスピーチで東京に出ても大丈夫だという感じを持ちました、それで今日歩いて来るときに緊張しますねとか言っていて、ここに来たら立派なところで話すんですねと言っていて、コケルかと思って楽しみにしていたら全然コケなかったのでがっかりしております、人物欄に木村教授は次のように書いております、明るく快活で面倒見が良い、留学生の中で日本語のレベルが高いという事から、ほかの留学生の手続き上、学習面での支援をしていることが多いと、礼儀正しく、コミュニケーション能力が非常に高いと学生で、貴奨学会の素晴らしい人物と考え推薦いたしますという事で、木村先生の推薦状は間違いないと今日は確信した次第であります。人物についてご自身は小論文というかたちで書いてありますが、先ほどのスピーチにも出ておりました、小論文のテーマですが「留学先に日本を選んだのか」という事が書いてあります、そのテーマの最初のところに彼はこの様に書いております、日本の事好きだからそれで留学先が日本になったという事でございます、小さいころ日本のアニメが好きで日本文化に興味が出てきた、日本と中国は教育的にも文化的にも近いがどうも微妙に違うのだと、その違いに引かれて比較しながら楽しんでいました、何時か日本で生活してみるか、それとも旅行して日本に行きたいと中学校からずっと思っていた、大学２年の時に日本語学部の授業も受講し始めて大学４年の時に交換留学のチャンスを掴んで、それで福井の方に来られました、そこで日本語が上手になったようであります、その時の感じでは自分のイメージとは違う、食べ物も自然環境も、そして日本人は思ったより優しいのだと、そのギャップにより引かれて日本と中国の差異を自分の目でもっと確かめるために交換留学を終わってすぐまた東北大学に進んで日本と中国の経済交流も昔よりいっそう盛んになっている、日系の企業は中国での事業展開がいっそう進んでいるし、一方中国の企業は最近日本の市場に進出も進んでいる、だから留学を終えた後、日本の会計事務所に就職して、そこで自分が身に着けた日中の会計の職種を生かして両国の経済交流がスムーズに進むように自分の力を注ぎたいと、これは将来の方向の考えであります、今までお互いに偏見と誤解を持っていると確かにそうだと思います、張さんの経験からすると多くの場合は悪意を抱えているわけではないと、ただの理解不足に過ぎないと、このままお互いの文化の良い所も見逃してしまいもったいないと、だから卒業した後日本で就職しても中国に戻ってからも関係なく周りの人たちも真実を誠実に伝えて言って一人でもいいから偏見を持つ人を減らしたいと思っているとこの様に結んでいただいております、これは先ほどのスピーチの中にもよくあらわれておりました、この様な張君を奨学生として受け入れて一緒に時間を過ごせるという事はとても良い会と思いますので、是非皆さんにもご協力を頂きたいと思っております、と申しますのは、このカウンセラーに関しての役割という事で書いてありますが、奨学生に対応する時間が持てるかという事が第１番目に書いてあります、私最近妙な忙しさを持っておりましてあまり時間が取れなくなってきております、ですからその分是非皆様に協力して頂いて張君の事を面倒見たり相談したり可愛がって頂きたいと思います、張君を見ていると非常に良い男です、そ

れを見て是非うちの娘の婿にと思っている人も居ると思いますが、それは爺役として無理ですよと言いたいと思います、と申しますのは張君は一人っ子なのです、やはり国の方では両親が待っている訳です、張君がいい子なら両親は可愛がって育てた、それをこっちで引っこ抜いで置きっぱなしにするとこれはちょっと可哀そうだなという事から爺としてはある程度期間を過ぎたら帰って日本と中国の間のパイプ役を上手にお願いしたいと思っております、これ以上話すと嫌われますので終わりたいと思います。